

# 北海道骨粗鬆症研究会 News Letter

Vol.2

2023.08



## 理事長就任のご挨拶



### 理事長 高畑 雅彦

本年度より、理事長を拝命いたしました高畑雅彦です。この素晴らしい研究会で、みなさまと骨粗鬆症に関する知識の共有と研究の推進に努めることができることを嬉しく思います。

当研究会は、骨粗鬆症という人口の超高齢化が進む我が国においてはきわめて重要な健康課題に対する取り組みを通じて、地域社会の健康と福祉を支える使命を担っています。骨粗鬆症を基盤とした脆弱性骨折は、患者の痛みやQOL低下に直結する疾患であると同時に要介護、要介助者が増えることにより人的あるいは経済的な負担を若い世代に背負わせることにもつながります。私たちの目標は、骨粗鬆症の予防、早期発見、適切な治療法の普及など多岐にわたりますが、共通していえることは、最新の医学知識と研究成果をもとに、地域医療ひいては社会に寄与することです。

当研究会は、地方の研究会ながら骨に関する専門家や研究者、治療に携わる多くの職種の方が集まり、知識の共有や予防策の開発、改善を目指す稀にみる学際的な組織です。私たちは協力し合い、相互に学び合うことで医療の質を高めるとともに、病態解明や新たな治療法や予防策の発見を目指していきけるのではないかと考えています。新型コロナウイルス感染症の流行は、骨粗鬆症の治療にも大きな影響を与えたといわれていますが、学術活動も大きく変容させました。広大でかつ、冬季はとくに移動にも制限がある北海道においては研究会やセミナーへのウェブ参加は利便性や経済的にも大きなメリットがあることもわかりました。また第4次産業革命とよばれる技術革新の時代にあって、わたくしたちの研究交流、活動も技術を積極的に導入して変革していく必要があると考えています。

皆様のご協力とご支援がなければ、この研究会の成果は得られません。一人一人の力が結集し、地域社会全体の健康を向上させるために、共に努力してまいりましょう。ご意見やご提案、そして積極的なご参加をお待ちしております。

## 新役員体制のご紹介

**理事長** 北海道大学大学院医学研究院 整形外科学教室  
高畑 雅彦

**副理事長** 北海道大学大学院歯学研究院 硬組織発生生物学教室  
長谷川 智香

**理事** 札幌医科大学 整形外科  
射場 浩介

旭川医科大学 産婦人科学教室  
加藤 育民

公立千歳科学技術大学 理工学部 応用化学  
生物学科  
木村-須田 廣美

札幌医科大学医学部 免疫・リウマチ内科学  
高橋 裕樹

NTT東日本札幌病院 糖尿病内分泌内科  
永井 聡

**新評議員** 独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター  
藤田 諒

## 事務局移転・研究会HP リニューアルのお知らせ

この度、本研究会事務局を移転させていただくことになりました。この場をお借りして、長らく事務局業務を担っていただきました株式会社コンベンションワークスの皆様にご心よりお礼申し上げますとともに、これを機に、役員一同さらに精励し、会員の皆様とともに、よりよい研究会運営を目指してゆきたいと思っております。

また、事務局移転に伴い、研究会ホームページのリニューアルも予定しております。新事務局ならびにHP情報につきましては、近日中メールにて会員の皆様にご案内させていただく予定でございます。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 第35回学術集会のご報告

去る2023年1月28日に、第35回北海道骨粗鬆症研究会学術集会を開催いたしました。第35回学術集会は4年ぶりにハイブリッド開催を行い、演題発表者はほとんどが現地参加いただくことができました。対面での演題発表および活発な討議を行うことができ、改めて知識のブラッシュアップと今後の研究シーズを得る貴重な機会となりました。

本学術集会総会において、長年、本会の理事長を務めて下さった伊東学先生から高畑雅彦先生への理事長移行が承認されましたが、実質的には高畑新理事長をはじめ、理事・評議員が入れわって行われるようになった最初の学術集会でした。これからの研究会の新たな試みについても理事長より紹介があり、すでに昨年開催された“熱骨甲子園”などのサテライト企画（共催セミナー）の推進などについても紹介がありました。

この度の学術集会は「骨粗鬆症治療の光と影を考える」をテーマに、産業医科大学第1内科学講座田中良哉教授の特別講演をはじめ、ミニレクチャー2演題、一般演題14演題の発表がございました。例年に比べると少な目の演題数ではありましたが、その分活発な討議がなされ、有意義な学術集会となりました。

末筆ではございますが、理事・評議員の先生方、会員の先生方、事務局の皆様、ご参加いただいた皆様、学術集会の運営にご支援をいただきました皆様によりお礼申し上げます。



## 各賞受賞者

受賞者の先生方、  
おめでとうございます！！

### 優秀論文賞 (Best Paper Award)

中村 郁哉先生  
(公立千歳科学技術大学大学院 理工学研究科)  
「近赤外分光法による軟骨組織中のプロテオグリカンとコラーゲンの定量的検討」

大上 哲郎先生  
(北海道大学大学院医学研究科 整形外科)  
「ロモソマブの逐次療法におけるゾレドロン酸とデノスマブの比較」

石津 帆高先生  
(北海道大学病院 整形外科)  
「大腿骨近位部骨折後のリエゾンサービスにおける二次骨折発生とリスク因子-Covid19状況下の前向き研究-」

### トラベリングアワード

河本 千宙先生  
(公立千歳科学技術大学大学院 理工学研究科)  
「ヒメマス椎骨の力学特性」



## 第36回学術集会のご案内

第36回北海道骨粗鬆症研究会学術集会を、下記要領にて開催いたします。  
皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】  
2024年2月17日(土)

【大会長】  
旭川医科大学 産婦人科学教室  
加藤 育民

【会場】  
北海道大学学術交流会館  
(札幌市中央区北8条西5丁目)



## サテライトセミナーのご案内

本研究会では、不定期でサテライトセミナー（オンライン形式）を開催しております。セミナー情報は、メールで配信いたしますので、ご興味のある方は、ぜひご参加くださいませ。また、随時、会員の皆様からのセミナー企画のご希望やセミナー案も募集しておりますので、ご要望がありましたら、お知らせくださいますようお願い申し上げます。



## 会員募集

本研究会は、道内で骨粗鬆症治療に携わる整形外科、婦人科、内科、歯科などの臨床医のみならず、骨の研究に携わる基礎研究者が集う学際的な研究会として設立され、活発な研究活動を継続しております。

入会をご希望の方は、研究会HPに掲載の入会申込書に必要事項を記入の上、事務局までお送りください。

研究会HP：<https://hokkaido-hone.com/>



発行

北海道骨粗鬆症研究会  
広報委員会